



室蘭市議会議長  
山 川 明



室蘭市長  
新 宮 正 志

# 新年のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた平成19年の新春を迎えられましたことを市議会を代表し、心からお喜び申し上げます。

昨年は、新たな企業の進出や既存企業の大規模設備投資、また本年4月のオープンを目指す大型ショッピングセンターの建設や10月の本格稼働に向けたPCB廃棄物処理施設の着工などもあり、地元経済に活気が戻りつつあります。室蘭港の輸出入総額も過去最高を記録するなど好調に推移し、国内最大級の風車や太陽光発電施設の設置など数々の明るいニュースがありました。

さらに、地元ラーメン店が中心となり「室蘭カレーラーメン」を全国にアピールしようと、まちおこしに頑張っています。

新たな節目の年の始まりにあたり、私ども市議会といたしましても、地方分権の推進に向けた取り組み、将来の国と地方のあり方や市議会として果たすべき役割について、積極的に学び、このような動きを的確に捉え、実り多い1年となるよう、市民とともに取り組んでまいりたいと存じます。

本年が皆様にとって、心豊かで幸せ多い年となるよう、心からご祈念申し上げ、新春のごあいさつといたします。

市民の皆様、あけましておめでとうございます。健やかに平成19年の新春を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

さて昨年は、基幹産業の活況を背景に、製造品出荷額が2年連続で1位となるなど、北海道を代表する「ものづくりのまち」として、室蘭の底力を広くアピールできた年であったと感じております。また、PCB廃棄物処理施設の着工や関連企業の進出決定など、雇用を中心に経済波及効果が広がってきており、環境産業拠点都市の形成に向け、明るい将来展望も開けてきました。

いま、時代は「国から地方へ」という大きな流れの中で、本格的な地方分権時代に突入しました。地域のことは地域で決めて実行する時代を迎え、未来を担う子どもたちの育成や、安心・安全な暮らしの確保など、室蘭らしさが発揮できる取り組みについて、一層力強く進めてまいりたいと考えております。

本年も、市民の皆様と力をあわせ、また西胆振の中核都市としての責務を担いながら、次の時代に誇りと自信を持って引き継ぐことのできるまちづくりに取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりまして、明るく幸多き一年となりますよう心からお祈りし、年頭のごあいさつといたします。

